

このたびは、シズンウォッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みの上、正しくお使いください。また、シズンホームページ (http://citizen.jp/) の「サポート」→「時計の操作ガイド」→「機種番号」で操作説明がご覧いただけます。また、シズンホームページ (http://citizen.jp/) の「サポート」→「時計の操作ガイド」→「機種番号」で操作説明がご覧いただけます。また、シズンホームページ (http://citizen.jp/) の「サポート」→「時計の操作ガイド」→「機種番号」で操作説明がご覧いただけます。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

- 危険** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 - 警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 - 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)
- このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
 - このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

製品仕様

- 機種番号……………3針: E00*/E01*/E03*/E10*/E110/E068/E168/B035/B036/B690 2針: B023/J015/J165
- 型式……………アナログソーラーパワーウォッチ
- 水晶振動数……………32,768Hz (Hz = 1秒間の振動数)
- 時間精度……………平均月差±15秒 常温 (+5℃~+35℃) 携帯時
- 作動温度範囲……………-10℃~+60℃
- 付加機能……………


機種番号	充電警告機能	クイックスタート機能	時刻合わせ告知機能	過充電防止機能
E00*	○	—	—	○
E01*	○	○	○	○
E03*	○	—	—	○
E10*	○	○	○	○
E11*	○	○	—	○
E068	○	○	—	○
E168	○	○	—	○
B023	○	—	○	○
B035	○	—	—	○
B036	○	—	—	○
B690	○	○	—	○
J015	—	—	—	○
J165	—	—	—	○

機種番号	持続時間(約)フル充電後から運針停止まで	警告時間(約)2秒運針または1秒運針してから運針停止まで
E系機種	6ヶ月	4日
B023	12ヶ月	14日
B035	7ヶ月	4日
B036	7ヶ月	4日
B690	9ヶ月	7日
J015	9ヶ月	—
J165	9ヶ月	—

8. 使用二次電池…… 二次電池 (ボタン型リチウム電池) 1個

【機種番号の見かた】
時計の裏ぶたに、4ケタと6ケタ以上からなる番号が刻印されています。(下図) この番号を「側番号」と言います。側番号の先頭の4桁が機種番号になります。右の例では「1234」が機種番号です。

刻印位置の例



時計によって表示位置は異なります。

*仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

商品の特徴

この時計は、文字板面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログソーラーパワーウォッチです。

ご使用になる前に

ご使用になる前に時計に光を当てて十分に充電してください。この時計は一度停止してしまうと、動き出すまでの充電に時間がかかります。毎日の充電を心がけてご使用ください。
*時計が停止している場合は、太陽光などの強い光で充電してください。

この時計は光を電気エネルギーに交換し、それを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直接日光や蛍光灯の光をあてることにより充電ができます。二次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。一度フル充電すると一定期間は充電しなくても時計は動き続けます。

＜ソーラーパワーウォッチの上手な使い方＞
快適にこの時計をご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心がけてください。この時計はどんなに充電しても過充電の心配はありません。(過充電防止機能付き)

ねじロックりゅうずの使いかた

モデルによってりゅうずが、ねじロック式の場合があります。ねじロック式でない場合は、ロックを解除することをお使いいただけます。

ねじロックりゅうずの確認方法
りゅうずを引く
・容易に引き出すことができなければ、ねじロックりゅうずです。
りゅうずを右に回す
・途中で回すことができなくなれば、ねじロックりゅうずです。

ねじロックりゅうずの使いかた



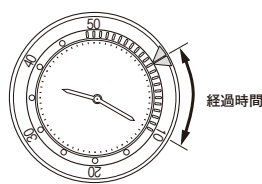
りゅうずが飛び出すまで、りゅうずを左に回す。



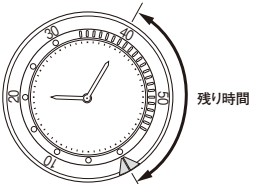
りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める。

回転ベゼルの使い方

潜水時の経過時間または決められた時間に対するの残りの時間の目安に利用できます。
*回転ベゼルは、水中にもぐった場合などの安全を考慮し逆転防止 (左回り専用) つきとなっております。



経過時間の測定
回転ベゼルの▼印を分針に合わせてください。ある時間経過後回転ベゼルの目盛りによって経過時間がわかります。



残り時間の測定
回転ベゼルの▼印を目標時刻に合わせておくと残り時間がわかります。

ソーラーパワーウォッチ充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。


環境	照度 (ルクス lx)	充電時間 (約)	
		1日の動作に必要な充電時間	停止状態から正常に動き出すまでに必要な充電時間
屋外 (晴天、曇天)	100,000 ~ 10,000	2~12分	45分~9.5時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	18~40分	14時間~35時間
屋内	500	2~4時間	70時間 ~ 240時間

*常に時計を動かしている状態ですと比較的短時間の充電で済みます。

時刻・カレンダーの合わせ方

*りゅうずが、ねじロックりゅうずの場合は、ねじをゆるめてから操作を行い、操作が終わりましたら、ねじをきちんと締めてください。

3針の場合
[日付つき]




① 時刻合わせ
② 日付合わせ

＜時刻の合わせ方＞

1. 秒針が0秒位置になったときにりゅうずを時刻修正位置②に引き出します。
2. りゅうずを回して時刻を合わせます。
3. 時報などに合わせてりゅうずをきちんと通常位置①に戻します。

2針の場合



① 時刻合わせ

＜時刻の合わせ方＞

1. りゅうずを時刻修正位置①に引き出します。
2. りゅうずを左に回して日付を合わせます。
3. りゅうずを右に回して曜日を合わせます。
*日付のみの場合は、りゅうずを右に回すと空回りします。
4. りゅうずをきちんと通常位置①に戻します。
*時刻が午後9時~午前4時頃 (日付のみのモデルの場合は午後9時~午前1時頃) を示している間は、カレンダー修正を行わないでください。この間にカレンダー修正を行うと、カレンダーが正しく切り替わらないことがあります。

☆モデルによってデザインが異なります。

＜時刻の合わせ方＞

1. りゅうずを時刻修正位置①に引き出します。
2. りゅうずを回して時刻を合わせます。
3. 時報などに合わせてりゅうずをきちんと通常位置①に戻します。

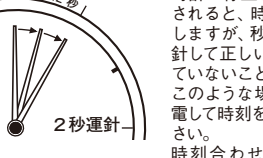
ソーラーパワーウォッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると以下のような警告機能が働いて表示が切り替わります。

3針の場合


充電警告機能

秒針が2秒運針して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、2秒運針を始めてからしばらくつと時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの1秒運針に戻してください。



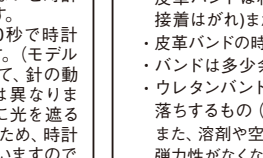
時刻合わせ告知機能

時計が停止した状態から充電されると、時計の針は動き出しますが、秒針が変則2秒運針して正しい時刻が表示されていないことを知らせます。このような場合は、十分に充電して時刻を合わせ直してください。時刻合わせ操作をしないと変則2秒運針が続きます。



クイックスタート機能

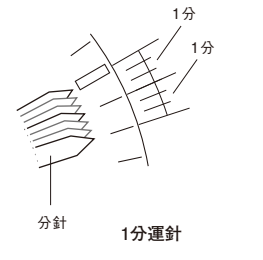
充電が全くされていないと時計は停止してしまいます。光を当てると、約10秒で時計の針が動き始めます。(モデルや光の明るさによって、針の動き出すまでの時間は異なります。) 但し、この時に光を遮ると充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますので注意してください。



2針の場合

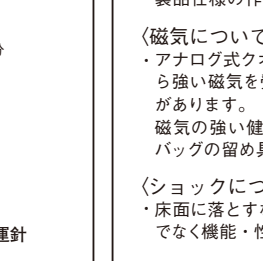
充電警告機能

分針が1分運針して充電不足を知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、1分運針を始めてからしばらくつと時計は停止してしまいます。光を当てて充電し、もとの20秒運針に戻してください。



時刻合わせ告知機能

時計が停止した状態から充電されると、時計の針は動き出しますが、分針が変則1分運針して正しい時刻が表示されていないことを知らせます。このような場合は、十分に充電して時刻を合わせ直してください。時刻合わせ操作をしないと変則1分運針が続きます。



お取り扱いにあたって

警告 防水性能について

※時計の文字板及び裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。

名称	表示		使用例				
	文字板又は裏蓋	仕様	水がかかる程度の使用 (洗濯・雨等)	水仕事や、一般水泳に使用。	スキンドайビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でりゅうず操作。
非防水時計	—	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 10/20bar	10気圧防水 20気圧防水	○	○	○	×	×

(1barは約1気圧に相当します)

*WATER RESIST (ANT) × barはW.R. × barと表示している場合があります。

注意 人への危害を防ぐために

- ・幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

注意 使用上の注意

- ・りゅうずは常に押し込んだ状態 (通常位置) でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・水分のついたままりゅうずの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
- ・日常生活用強化防水時計の場合、海水に濡した時や多量に汗をかいた後は、真水でよく洗いきれよく拭き取ってください。
- ・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品 (ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど) が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

(バンドについて)

- ・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がある場合があります。(脱色、接着はがれ、かぶれの原因にもなります。)
- ・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ・ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの (衣類、バッグ等) と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

(温度について)

- ・極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

(磁気について)

- ・アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
- ・磁気の強い健康器具 (磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

(ショックについて)

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能・性能に異常を生じる場合があります。

保証とアフターサービスについて

- 保証について**
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。
- 修理用品の保有期間について**
当社は、時計の機能を維持するための修理用品を通常7年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンド等の外装部品は、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。
- 修理可能期間について**
当社の修理用品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合もあります。
- ご購入・ご購入品の場合**
保証期間中にご購入されたら、ご購入品のためにご使用の時計がお買上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- 定期点検 (有償) について**
安全に長くご使用いただくために、2~3年に一度の点検 (有償) を行ってください。防水時計の防水性能は、経年劣化しますので、防水性能を維持するために、部品の交換が必要です。必要に応じてパッキングやパネ棒などの交換を行ってください。部品交換の際は、純正品とご指定ください。交換だけでなく、他の部品の点検または修理を行う必要がある場合もありますので、交換修理料金など、詳しくはお買上げ店、または弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。
- その他のお問い合わせについて**
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にご相談ください。

メモ